

環境保全協定に基づく環境測定結果の報告

1. 環境保全協定書第4条及び第5条に基づく施設からの排ガスの測定結果

測定日：令和5年6月29日

項 目	単 位	1号煙突	2号煙突	協定基準値	国の基準値
ダイオキシン類	ng - TEQ/m ³ N	0.019	0.033	0.05 以下	0.1 以下
ばいじん	g/m ³ N	0.00080 未満	0.00073 未満	0.01 以下	0.08 以下
塩化水素	ppm	3.7	7.0	43 以下	430 以下
硫黄酸化物	ppm	0.57	0.46	30 以下	約 3,000 以下
窒素酸化物	ppm	27	5.2	50 以下	250 以下
一酸化炭素	ppm	1.7 未満	2.0	30 以下	—

※ ng - TEQ/m³N

n g (ナノグラム) … 10億分の1 g

TEQ (毒性量等) …ダイオキシン類は種類によってそれぞれの毒性の強さが異なり、ダイオキシン類の量を毒性の最も強い2,3,7,8-TeCDDの毒性を「1」としたときの換算値

m³N (ノルマルリュウベイ) …気温0℃、1気圧の状態における1 m³

※ ppm … 100万分の1

環境保全協定に基づく環境測定結果の報告

1 各種環境測定の結果

施設からの排ガス、騒音、振動、悪臭及び周辺環境の調査結果については以下のとおりです。

① 排ガス等測定結果

測定日：令和5年12月22日

項 目	単 位	1号煙突	2号煙突	協定基準値	国の基準値
ダイオキシン類	ng - TEQ/m ³ N	0.012	0.028	0.05 以下	0.1 以下
ばいじん	g/m ³ N	0.00076 未満	0.00097 未満	0.01 以下	0.08 以下
塩化水素	ppm	6.0	32	43 以下	430 以下
硫黄酸化物	ppm	0.34 未満	0.34 未満	30 以下	約 3,000 以下
窒素酸化物	ppm	2.8 未満	22	50 以下	250 以下
一酸化炭素	ppm	1.8	2.7	30 以下	—

※ ng - TEQ/m³N

(1) ng (ナノグラム) … 10億分の1g

(2) TEQ (毒性量等) … ダイオキシン類は種類によってそれぞれの毒性の強さが異なり、ダイオキシン類の量を毒性の最も強い2,3,7,8-TeCCDの毒性を「1」としたときの換算値

(3) m³N (ノルマルリュウベイ) … 気温0℃、1気圧の状態における1m³

※ ppm … 100万分の1

② 騒音・振動・悪臭測定結果

・騒音 (敷地境界値)

測定日：令和5年12月14日～15日

項 目	単 位	地点①	地点②	地点③	協定基準値	県条例基準値
朝 (午前6時～午前8時)	デシベル	52	51	47	55 以下	60 以下
昼 (午前8時～午後6時)		53	56	48	60 以下	65 以下
夕 (午後6時～午後10時)		48	46	42	55 以下	60 以下
夜 (午後10時～午前6時)		46	40	41	50 以下	50 以下

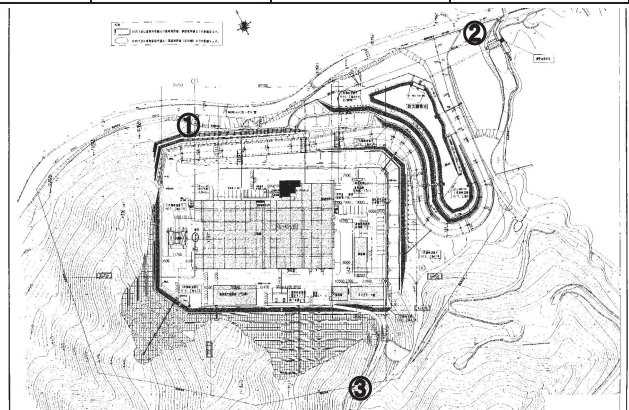
※音の強さの目安

60 … 日常の会話

50 … 静かな事務所

40 … 図書館や静かな住宅地

30 … 郊外の深夜



・ 振動（敷地境界値）

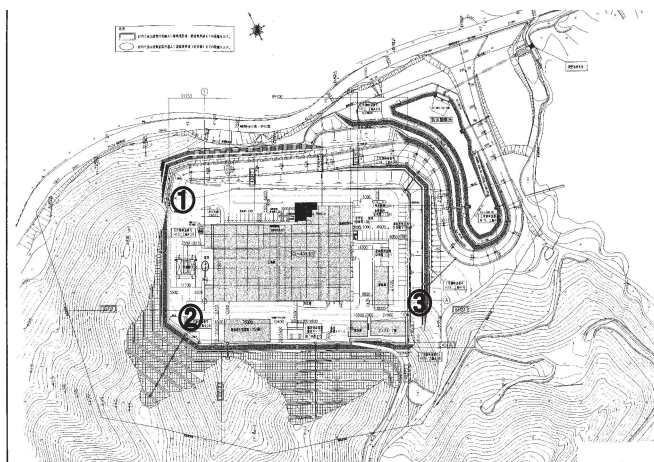
測定日：令和5年12月14日～15日

項 目	単 位	地点①	地点②	地点③	協定基準値	県条例基準値
昼(午前8時～午後8時)	デシベル	30	25未満	32	60以下	65以下
夜(午後8時～午前8時)		29	25未満	32	55以下	60以下

※振動の強さの目安

55～65…静止している人だけ感じる

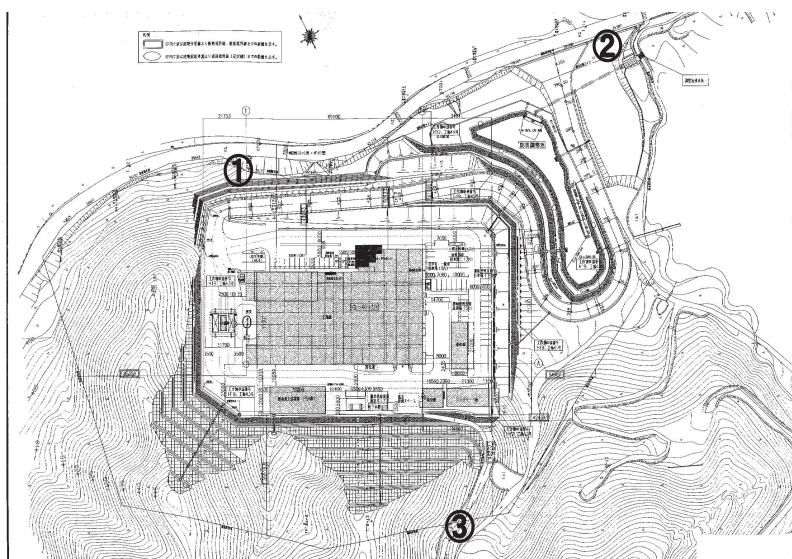
45～55…人体に感じない程度



・ 悪臭（敷地境界値）

測定日：令和5年12月22日

項 目	地点①	地点②	地点③	協定基準値	国県基準値
臭気強度	0	0	0	2.5以下	—



③ 周辺環境モニタリング大気質調査

測定日：令和 5 年 12 月 19 日～12 月 25 日

測定結果

測定箇所：平ヶ崎ストックヤード付近

項 目	区 分	単位	今回測定値	建設前測定値
ダイオキシン類	平均値	pg - TEQ/m ³	0.0043	0.014
窒素酸化物	期間平均値	ppm	0.004	0.005
	1 時間値の最高値		0.019	0.020
二酸化硫黄	期間平均値	ppm	0.001	0.002
	1 時間値の最高値		0.005	0.005
浮遊粒子状物質	期間平均値	mg/m ³	0.004	0.006
	1 時間値の最高値		0.016	0.031
塩化水素	期間平均値	ppm	0.001 未満	0.003 未満
	1 時間値の最高値		0.001 未満	0.003 未満
光化学オキシダント	期間平均値	ppm	0.026	0.026
	1 時間値の最高値		0.041	0.046
風向	最多風向	—	西北西	西
風速	期間平均値	m/s	1.1	1.1
	期間最高値		3.8	5.3

※ p g (ピコグラム) … 1 兆分の 1 g

※建設前測定…調査期間 H17. 12. 20～H17. 12. 26

環境基準

物 質	環 境 上 の 条 件
ダイオキシン類	年平均値が 0.6pg TEQ/m ³ 以下であること。
窒素酸化物	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
二酸化硫黄	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
浮遊粒子状物質	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ 1 時間値が 0.20 mg/m ³ 以下であること。
塩化水素	目標環境濃度 1 時間値：0.02ppm
光化学オキシダント	1 時間値が 0.06ppm 以下であること。 参考…注意報発令基準：0.12ppm 以上となりその状態が継続すると予想されるとき

※環境基準は、「維持されることが望ましい基準」であり、行政上の政策目標である。これは、人の健康等を維持するための最低限度としてではなく、より積極的に維持されることが望ましい目標として、その確保を図っていかうとするものである。(環境省HPより抜粋)

※塩化水素は通達による目標値

④周辺環境モニタリング水質調査

測定結果

試料採取日 令和5年11月8日

項目	単位	地点①	地点②	地点③	地点④	建設前測定値	基準値
水温	℃	12.2	12.0	10.2	10.8	5.0	—
気温	℃	17.4	17.4	16.0	16.0	11.2	—
臭気	—	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	—
透視度	度	50 以上	50 以上	50 以上	50 以上	50 以上	—
色度	度	2.0	1.7	2.0	1.9	2.0	—
流量	m³/分	0.3	0.5	19	36	15.8	—
水素イオン濃度 (PH)	—	7.7	7.6	7.7	7.7	7.7	6.5～8.5
浮遊物質 (SS)	mg/L	2.4	1.6	2.0	1.2	1.0 未満	25 以下
化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	1.1	0.9	1.0	1.0	1.3	—
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	0.8	0.8	0.6	0.5	1.5	2 以下
溶存酸素容量 (DO)	mg/L	10.2	10.5	10.1	10.3	9.1	7.5 以上
大腸菌群数	MPN/100mL	1300	1300	1700	2000	23	1,000 以下
全窒素	mg/L	0.33	0.30	0.31	0.35	0.57	—
全りん	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.002	—
亜鉛	mg/L	0.004	0.003	0.003	0.004	0.002 未満	—

地点①…センター雨水排水口上流側

地点②…センター雨水排水口下流側

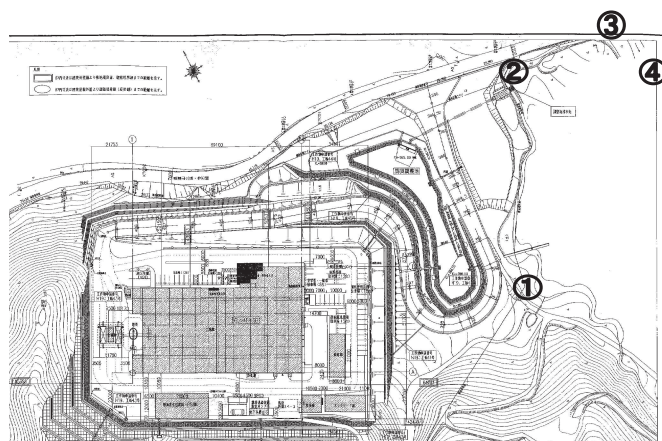
地点③…白崖橋上流側

地点④…白崖橋下流側

※建設前測定

試料採取日…平成18年1月26日

採取箇所…地点④白崖橋下流側



⑤ 周辺環境モニタリング土壌調査

測定日：令和5年11月8日

測定場所：平ヶ崎ストックヤード

測定結果

項 目	単 位	今回測定値	建設前測定値	環境基準値
総水銀	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 以下
ニッケル	mg/L	0.01 未満	—	—
銅	mg/kg	0.5 未満	1	125 未満
鉛	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.01 以下
六価クロム	mg/L	0.02 未満	0.02 未満	0.05 以下
亜鉛	mg/L	0.01	—	—
カドミウム	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
ダイオキシン類	pg - TEQ/g	10.0	16	1,000 以下

※建設前測定値は平成17年度に平ヶ崎ストックヤード南側のテニスコート脇での調査結果である。